

# 防災・減災推進サイネージ

デジタルサイネージで防災・減災を支援

## お客様のベネフィット

POINT 平常時サイネージ  
**1** として活用しつつ  
災害にも備える

平常時も一般ビル・オフィス内サイネージとして活用しながら、防災リテラシー向上の為にコンテンツを適宜表示し、災害への備えを行います。

POINT 災害発生時、即時  
**2** 自動切替表示、  
最新情報を配信

災害発生を自動検知し、即時に表示コンテンツを切り替え。災害発生後もインターネット経由の情報等、刻々と変化する災害情報を伝達します。

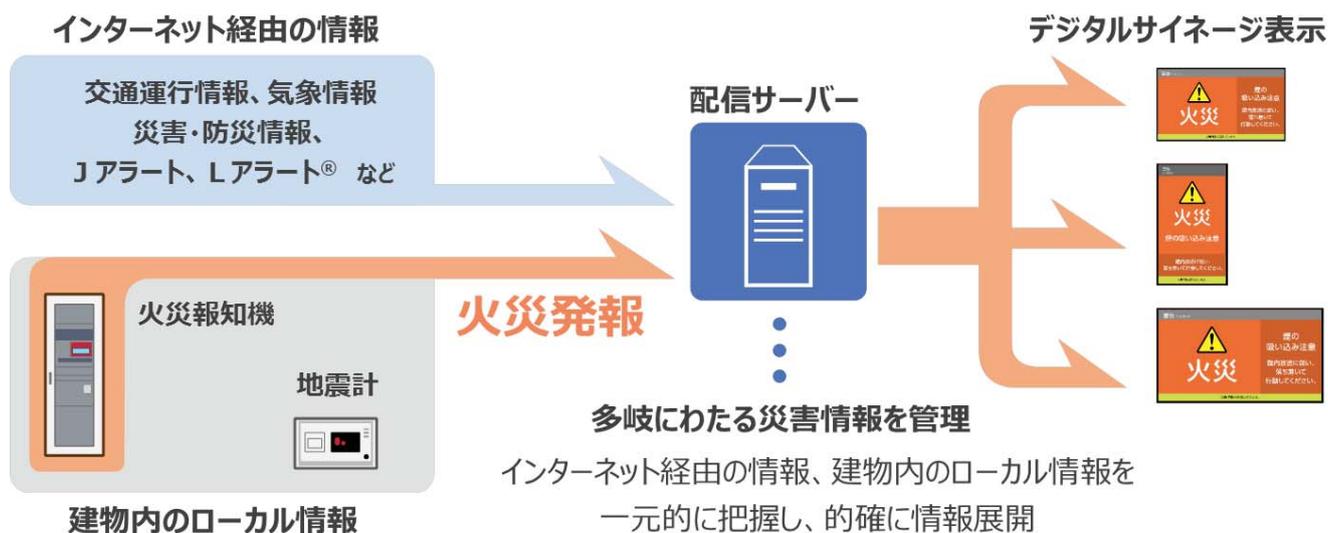
POINT 災害弱者への情報  
**3** 伝達手段を確保

状況に適宜対応したピクトグラムや地図、多言語表示など館内音声放送だけでは情報伝達が不十分な外国人や聴覚障害者等の災害弱者へ方のアラートも実現。

## ベネフィットを支えるソリューション

### インターネット経由と建物内ローカルの災害情報両検知に対応

災害直後には複数の情報源を検知し避難勧告を含めた適切な情報を発信。火災報知機との連携により実際の火災発生場所をピンポイントで地図上に指し示すことも可能です。



### デジタルサイネージの配信機能を活かして必要な情報を発信

一定時間経過後にはインターネット経由の情報や、管理者の配信操作による情報など必要とされる情報をタイムリーに発信。

## 活用事例

### 災害発生時は消防・防災計画及びBCP(事業継続計画)にそってコンテンツを運用

平常時（発災前）、発災直後、一定期間経過後の各段階で必要な情報を発信することで、**避難行動の円滑化や混乱や不安増大の抑止等**を支援します。

災害発生直後から、早期に平常状態に復帰するためのBCP支援にも貢献。

さらに災害発生をシミュレーションした防災支援コンテンツを平常時から準備しておくことで

**防災担当者の災害時負荷を軽減し、より落ち着いた災害対応を支援**します。

**平常時** オフィスコミュニケーションとして必要な情報を発信



**災害直後** 火災報知機、地震器、インターネット経由情報と連携し自動でコンテンツ切替



**一定期間経過後** 平常状態に早期復帰するために、必要とされる情報を発信



### 平常時はそれぞれの場所に合ったサインージ活用

災害発生時のためだけの設備導入ではなく、お客様のニーズに合わせて活用方法をご提案。

また、平常時から防災リテラシー向上の為のコンテンツを適宜表示し、災害への備えを強化します。



CSRメッセージ



社員食堂メニューボード



グループ社内報告知



天気ニュース

## ディスプレイ・保守対応

### 用途に応じたディスプレイをラインナップ

会社の顔としてお客様をお迎えする大画面マルチディスプレイから、天吊り設置も可能な6.3mmスリムベゼル採用ディスプレイまで多彩な用途、サイズのディスプレイをラインナップ。

### 保守対応

ご使用できなくなる期間を最小限にできるよう代替機をご準備、故障品を取り外し代替機を持ち込み、交換設置いたします。別料金にて延長保証(最長5年)をご用意しております。

\*故障品は交換設置後に修理を行い、代替機として使用致します

**TOSHIBA**

**東芝映像ソリューション株式会社**

<http://www.toshiba.co.jp/vs/>

VS第二事業部

〒210-8543 神奈川県川崎市川崎区駅前本町25番1号



## TOSHIBA Visual Solution Fair &amp; Seminar 2016

**東芝ビジュアルソリューション  
フェア&セミナー2016**

「見える」を創る「見える」を活かす - 先進技術で顧客価値を共に創造 -

**東芝サイネージ  
ソリューション**

 「見える」を創る  
 「見える」を活かす

 11/16・17  
 wed thu  
 9:30-17:00  
 受付終了16:00

無料

 事前  
登録制

お申し込み締切

2016年11月9日(水)

主催：東芝映像ソリューション株式会社

会場：東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング 39階特設会場

**先進技術で  
顧客価値を  
共に創造**

駅や空港、商業施設、オフィス、病院などのあらゆる分野で、デジタルサイネージへの注目がますます高まっています。しかし、設備を導入しても効果的な活用が続かないケースも多いのではないのでしょうか？

東芝映像ソリューションは、単に機器やシステムをご提供するだけでなく、デジタルサイネージを導入することで、お客様に具体的なメリット=価値が生まれることが何より大切だと考えています。

そこで、長年培った社会インフラ分野での経験と先進技術を活かしながら、お客様に寄り添い、お客様とともに、具体的な「お客様の価値」を創出することに注力してまいります。

本年度3回目となる「東芝ビジュアルソリューションフェア&セミナー」では、お客様の事業課題の解決に適したソリューションを提案いたします。

ご多忙の折とは存じますが、是非ともご来場賜り、私たちの提案に、見て、触れて、耳を傾けていただきたく、みなさまのご来場を心からお待ちしております。

**お客様の価値創出を中心に置いた多様なサイネージソリューションを展示・デモンストレーションいたします。**
**東芝サイネージ  
ソリューション**

for Safety

**安心と安全のために**

平時から災害発生時まで、あらゆるシーンでの防災・減災を支援。またBEMSと連携した省エネの見える化や東芝が長年培った社会インフラ事業とともに総合的な「安心・安全」をご提案します。

**東芝サイネージ  
ソリューション**

for Productivity

**業務改革のために**

社内コミュニケーションの活性化、コスト削減、業務の効率化といった、お客様それぞれの課題をシステムのデータ連携やコンテンツによって統合的に「見える化」するソリューションをご提案します。

**東芝サイネージ  
ソリューション**

for Promotion

**広告・販売促進のために**

従来の広告・販促活用にとどまらず、空間演出、効果測定、インタラクティブなエンターテインメントやインバウンド対応など、導入効果を高める幅広いソリューションをご提案します。

**東芝サイネージ  
ソリューション**

for Entertainment

**感動をお届けするために**

スタジアムや屋外広告、街中のランドマークとしての大型ビジョンまで、感動をお届けする大型映像表示システムを用いたソリューションをご提案します。

※展示内容は、予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

QRコードよりアクセスしてください ▶


**事前申し込みおよび詳細は、ウェブサイトをご覧ください。**

東芝ビジュアルソリューションフェア2016

🔍 検索

**専門セミナー**
**デジタルサイネージ業界の最前線で活躍されている方々や実際に導入・活用されているお客様の皆さまを講師に迎え10コマの専門セミナーもご用意いたしました。**

詳しくは裏面▶

 協力  
(50音順)

一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム/㈱アマナイメージズ/㈱アメイジングポケット/㈱インセクト・マイクロエージェンシー/㈱クラウドポイント/㈱日建設計シビル/㈱ノンストレス/㈱マイクロアド/㈱ユー・エス・ジェイ/㈱レスキューナウ/サイバーステーション/都築テクノサービス/東京大学大学院/表示灯/ホーチキ/ES東芝エンジニアリング/東芝 インダストリアルICTソリューション社/㈱東芝 ストレージ&amp;デバイスソリューション社/東芝クライアントソリューション

## 11月16日(水)

16A 期待される災害時のデジタルサイネージの活用  
～できそうでできないもう一步、その課題とは～

60分  
9:30  
10:30

デジタルサイネージは、その媒体の特性上、多くの人が行き交う公共空間における災害時や緊急時の情報提供媒体として大きく期待され、その活用イメージの具現化に向け、様々な取り組みが進んできています。そのような中で危機管理情報配信事業を専門に行っている弊社では「できそうでできないもう一步」の課題があると考えています。その課題点を皆様と共有し「できるようにする」ためには何が必要となるか一緒に考えていきたいと思います。

株式会社レスキューナウ  
取締役 営業部部长

朝倉 一昌 様



## 16B 「災害発生時のサイネージが担う役割」

60分  
10:40  
11:40

東日本大震災において都内の帰宅困難者を対象としてデジタルサイネージを活用した情報伝達が行われました。住民、従業員、生徒の生命を救い、防災・減災にも役立てるための災害時の情報伝達手段の確立、新たな防災ツールの開発という視点から、ソーシャルメディアやデジタルサイネージなどの新しいメディアの災害時の活用について考えます。

東京大学大学院  
情報学環総合防災情報研究センター  
特任准教授

関谷 直也 様

16C “RE-B00000000RN(リ・ポーン)！ さあ、やり過ぎよう、生き返ろう。”  
開業15周年を迎えたユニバーサル・スタジオ・ジャパン®がお届けしたいメッセージ

60分  
13:00  
14:00

昨年度の来場者数が過去最高を記録しました。更なる成長に向かって、来園されるたくさんの方のゲストに「世界最高」のエンターテインメントをお届けするためにユニバーサル・スタジオ・ジャパン®が実施しているマーケティング活動を中心としたさまざまな取り組みについてお話しします。

株式会社ユー・エス・ジェイ  
マーケティング本部  
コーポレートマーケティングパートナーシップ部

湊 勝匡 様



## 16D 「Instagram連動型デジタルサイネージシステム最新の活用事例：ネイルサロン店舗が情報の流通拠点に」

60分  
14:10  
15:10

今までデジタルサイネージは店舗にとってコンテンツ更新が運営のネックでしたが、web baseサイネージのサービスプラットフォームの出現により、統合したデジタルコミュニケーションの展開が可能となり、攻めの更新が可能となりました。Instagramなど、SNSアプリケーションを活用したデジタルサイネージシステムが注目をされており、そのようなシステムを導入したネイルサロンを事例に、最新の活用事例を紹介いたします。

株式会社インセクト・  
マイクロエージェンシー  
代表取締役社長

川村 行治 様



株式会社ノンストレス  
代表取締役社長

坂野 尚子 様

16E パネルディスカッション  
「デジタルサイネージの進化・深化を担う、メディアデザイン人材輩出に向けた取り組み  
～デジタルサイネージコンソーシアムによる育成プログラムと資格認定制度～」

60分  
15:20  
16:20

一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアムでは、ロケーションにひもづくメディアとしてWeb技術を積極的に活用し、他のメディアと有機的に連動して情報提供するデジタルサイネージの「メディアデザイン」に関する専門家の育成、認定、職域拡大を目指し、「サテライトフィクション部会」を本年8月に設立しました。本件に関する背景、必要性と今後の展開の具体的な検討内容についてパネルディスカッション方式で紹介いたします。

一般社団法人  
デジタルサイネージ  
コンソーシアム 専務理事  
伊能 美和子 様



株式会社インセクト・  
マイクロエージェンシー  
代表取締役社長



株式会社マイクロアド  
デジタルサイネージ  
取締役



## 11月17日(木)

17A クロスモーダルAIでお客様と新たな価値の共創を目指す  
音声・映像活用クラウドサービス RECAIUS™

60分  
9:30  
10:30

音声・映像活用クラウドAIサービス「RECAIUS™」は人間の「見る」「聴く」「話す」をコンピュータ上で実現したサービスです。少子高齢化で今後労働者の確保が難しくなる未来に、少しでも人間に代わるサービスを出したいと考えておりますが、現在サービスを提供している「RECAIUS™」と弊社が目指している「クロスモーダルAI」の説明を事例含めてご紹介いたします。

株式会社東芝 インダストリアルICTソリューション社  
IoT&メディアインテリジェンス事業開発室  
メディアインテリジェンス事業開発部 事業開発第二担当 参事

大川 義弘 様

17B 「地下街の防災力向上と魅力発信に資する  
デジタルサイネージの活用と課題」

60分  
10:40  
11:40

川崎市は、直下型地震発生時の川崎駅前滞留者が約6.3万人以上になると想定しています。同市では、「川崎駅周辺の災害時における行動ルール(2014年3月)」の中でデジタルサイネージを活用した滞留者に対する安全確保と混乱抑制、的確な案内・誘導や情報提供を行うことを明示しています。その具現化として、2016年3月にリニューアルオープンした川崎アゼリアに災害対策兼用のデジタルサイネージが設置されました。川崎アゼリアの事例を紹介しながら多くの不特定多数の人が利用する地下街におけるデジタルサイネージの活用と課題について皆さまと一緒に考えていきたいと思います。

株式会社日建設計ンビル  
CM防災部部长

大森 高樹 様

17C 「防災監視システムとネットワークPAを活用した  
広域防災ネットワークについて」

60分  
13:00  
14:00

広大な敷地に立地する大学や病院、工場等においては建造物が離れた場所に点在し、防災情報の集中監視が課題となります。広大な敷地内においては不特定多数が出入りするエリアも存在し「安全と安心」の確実な提供が求められます。ホーチキは、このような課題に対し、広域防災ネットワークという新たな防災システムを提供します。

ホーチキ株式会社 営業本部  
システムエンジニアリング部  
システム技術課 係長

松長 秀一 様



## 17D 「サイネージで創る社内コミュニケーションの新しいカタチ」

60分  
14:10  
15:10

メールやグループウェア、スマートフォンなどの活用で社内の情報化は進みましたが、いまだに情報共有不全は多くの企業にとっての課題となっています。「社内の通達事項が徹底されていない」「本社、支店間の離れた場所でのコミュニケーションがうまくいかない」「会社の事業方針がうまく伝わらない」「社内の回覧や掲示物に代わる手段を探している」「ペーパーレス化を進めたい」等々の課題が山積しています。デジタルサイネージを使った「新たなコミュニケーションのカタチ」について実際の事例を踏まえて例証を試みます。

サイバーステーション株式会社  
執行役員 マーケティング部

荒川 治 様

17E 「サイネージの効果を最大限に発揮する コンテンツの制作と活用  
～顧客目線から考えるコンテンツ指南講座～」

60分  
15:20  
16:20

デジタルサイネージは、交通広告を中心に大規模施設など導入が進む一方、次の導入ステージとしてオフィスやリテールへと注目が集まっています。特に商業施設や飲食店舗など中小規模の店舗を中心に、販促ツールとしてのデジタルサイネージの価値は年々高まり、認知度もアップしてきました。このマーケットでの利用促進の鍵は、コンテンツ。マーケティングに基づいた「売れる」「魅せる」効果が見えるコンテンツ制作を中心に、サイネージの店舗における最前線の実情を、リッチなデザイン性の高いビデオコンテンツがWEB上で簡単な操作で制作可能なソリューションとともにご紹介いたします。

株式会社アメイジングポケット  
代表取締役

竹下 留美子 様



# TOSHIBA

Leading Innovation >>>

## 第1回 「外国人来訪者等が利用する施設における 避難誘導のあり方等に関する検討部会」

# 東芝の「防災・減災推進サイネージ ソリューション」のご紹介

2016年10月14日

東芝映像ソリューション株式会社  
VS第二事業部

Toshiba's  
One-Stop Solution  
DIGITAL SIGNAGE

# NTTデータ様本社ビル (東京豊洲、三井不動産ビルマネジメント様)

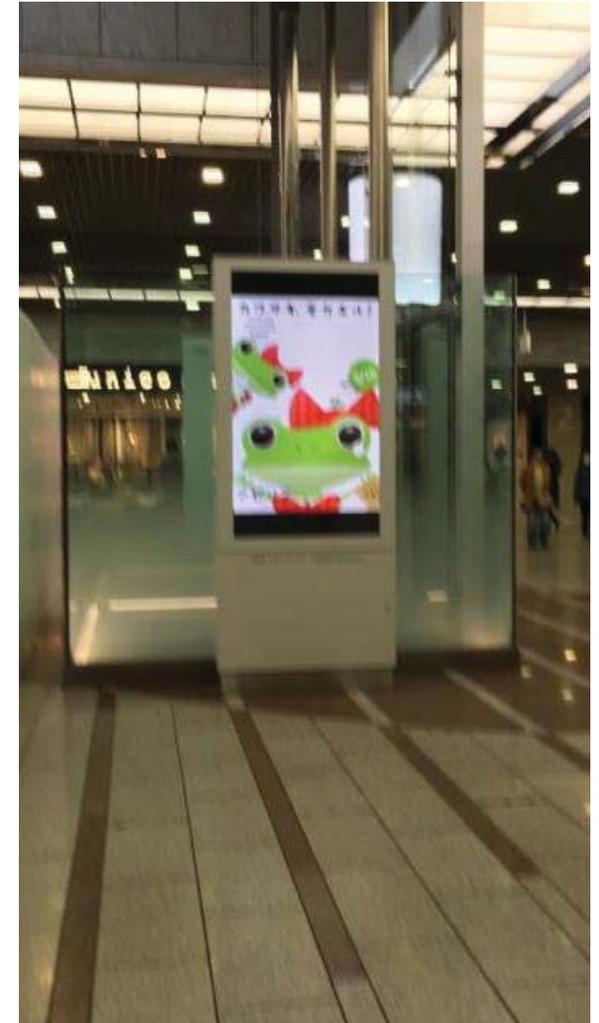
平常時：ニュースや天気予報

非常時：災害情報、火災報知器発報連携



# 川崎アゼリア様 (商業施設内サイネージ)

## 災害時混乱抑止の情報端末として設置



# 防災・減災支援サイネージ ①概要

## POINT 1 平常時サイネージとして活用しつつ災害にも備える

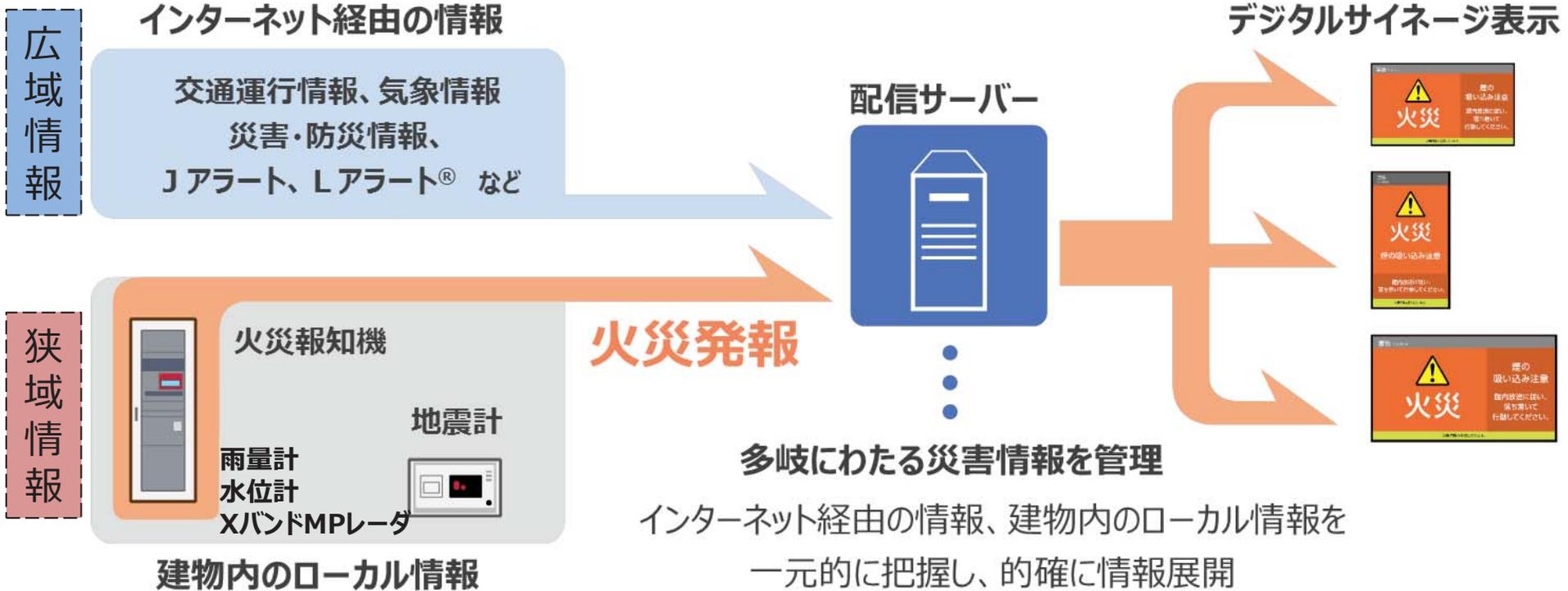
平常時も施設・ビル・オフィス内サイネージとして活用しながら、防災リテラシー向上の為にコンテンツを適宜表示し、災害への備えを行います。

## POINT 2 災害発生時、即時自動切替表示、最新情報を配信

災害発生を自動検知し、即時に表示コンテンツを切り替え。災害発生後もインターネット経由の情報等、刻々と変化する災害情報を伝達します。

## POINT 3 災害弱者への情報伝達手段を確保

文字表示、多言語表示、など日本語の館内音声放送だけでは伝達が不十分な外国人や聴覚障害者等の災害弱者へ方のアラートも配慮。



# 防災・減災支援サイネージ ②運用

## 災害発生時は消防・防災計画及びBCP(事業継続計画)にそってコンテンツを運用

平常時（発災前）、発災直後、一定期間経過後 の各段階で必要な情報を発信することで、**避難行動の円滑化や混乱や不安増大の抑止等**を支援します。

災害発生直後から、早期に平常状態に復帰するためのBCP支援にも貢献。

さらに災害発生をシュミレーションした防災支援コンテンツを平常時から準備しておくことで

**防災担当者の災害時負荷を軽減し、より落ち着いた災害対応を支援**します。

**平常時** | 施設内コミュニケーションとして  
必要な情報を発信しながら**防災リテラシー向上推進**



**災害直後** | **火災報知機、地震器、インターネット**  
**経由情報**と連携し**自動**でコンテンツ切替



**一定期間経過後** | 平常状態に早期復帰するために、  
必要とされる情報を発信

